

ここ1~2年、世を席巻している「婚活ブーム」、それに付随して異様に盛り上がる「婚活ビジネス」。小説もこれまでに何度も「婚活特集」を組んできた。だが、取材を重ねるにつれて浮かび上がってきたのは、「数十万円単位の力でかけても一向に実らない!」といった、婚活の迷路に迷い込んで苦しむ、男女の現実だった。こんなにわがブームに振り回された力も時間も無駄にするぐらいなら、婚活なんてもうご免だ!

## 婚活被害者が続出! ブームの陰で

「相手はないのが結婚したい」とする男女が急増中。盛り上がりを見せる、婚活市場の実態に迫る!

さらには婚活バーのような新業態など、結婚にまつわるサービスやビジネスが百花齊放の昨今。社会的に異様な盛り上がりを見せて、この「婚活ブーム」だが……。

「高いカネを払って結婚情報サービスに登録したが、基本的に業者はマッチングするだけアフター

フォローは一切なし」ということだ。(27歳女・公務員)、「どこに行つても出会うのは男の年収や外見ばかりを重視する計算高い女性ばかり。オレが探しているのはそんな女性じゃない!」(38歳

・外資系金融など、婚活経験者たちからは、多数の憤怒の声が。その「婚活ブームの闇」に迫るべく、早速調査を開始した!

婚活がらみの苦情は年間3000件以上!

「結婚相談所などの結婚情報サービス市場は、'06年度の時点で500億~600億円にも上っています」と語るのは、日本ライフデザイナーカウンセラー協会理事長で、選別に携わる原口博光氏。現在の盛り上がりからすると、今では数年前に比べて市場がさらに拡大しているとみて間違いないだろう。

「市場拡大と同時に苦情件数も増えている」とみて間違いないだろう。件を超す勢い。そのため、結婚情報サービス業はエステや英会話などと同様に、特定商取引法の中途

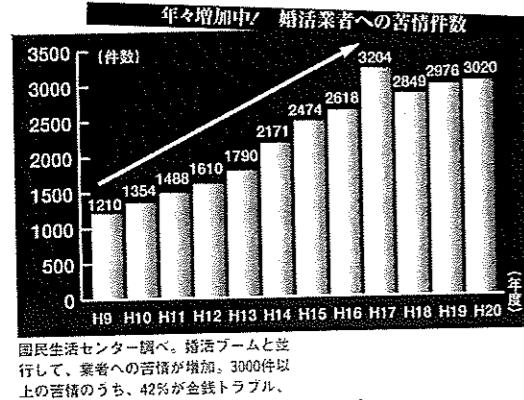
解約可能な業種のひとつに指定されて、消費者保護が図られているんです」

かつて世間を騒がせたNOVAのような悪質な業者が、婚活ビジネス業界に紛れ込んでいる危険性はかなり高いということか。そもそも、結婚情報サービスを使うと、結婚できる確率はどのくらいになるのだろうか。

「一般的には、結婚情報サービスの利用者の成婚率は7~16%程度とみられています」

仮にその数字が正確なものだとしても、結婚できる確率はおよそ10人に1人。数十万円もする高い登録料を払う割には、あまりに低いようだ。

「中には、すでに脱会した人の写真を削除せずに何年間も残しておいたり、若い頃の写真をそのまま使い続けたりする業者も。外見のいい男女を使ったサクラも多いで



### 結婚の闇 ワイド Part 2

60万円で入会した結婚相談所が消滅、合コンで異性を騙す既婚者にブチギレ! 被害者続出のブームの闇を当事者が告発する

# 怒りの臨界点超え 婚活のバカラ



サイバーエージェントの婚活サイト「男の子牧場」: 女性が、自分の周囲の男たちを牛や馬などに分類し、サイト内で情報を共有。「男を家畜扱いするな!」の怒りの声でサイトが炎上。5月13日にサービス開始、19日に閉鎖

編集部で、各社の平均額を試算したもの。ただしこれはあくまで「基本料金」。激しい営業攻勢に負けて、必要以上の追加サービスを購入してしまう人も多い

代表的な婚活支援サービスを2年間利用した場合の費用	
お見合いサイト (ブライダルネット、ヤフー結婚びなど)	約4万~15万円
お見合いパーティー (エクシオ、シャンクルなど)	約24万円
結婚情報サービス (オーネット、ツヴァイ、ノッゼなど)	約44万円
結婚相談所 (ライトウェブ、スター・ブライダルなど)	約45万円

す。こういう悪質な業者に引っかかるためには、登録前にいくつか最低限の確認を。その会社が、自社のHP、パンフレットに料金やサービス内容を明記しているか。また、「成婚率80%!」というように、ありえない数字が掲載された

まいかな?

次のページからは、業者をはじめ、婚活合コンやお見合いパーティーなどに参加して、実際に被害に遭った人たちが放つ「婚活のバカラー!」という悲痛な叫びを聞いてほしい!



経産省と連携して安心安全な結婚相談所に「マルチマーク」を発行。婚活だけでなくライフデザインの重要性を訴える。<http://www.counselors.jp>